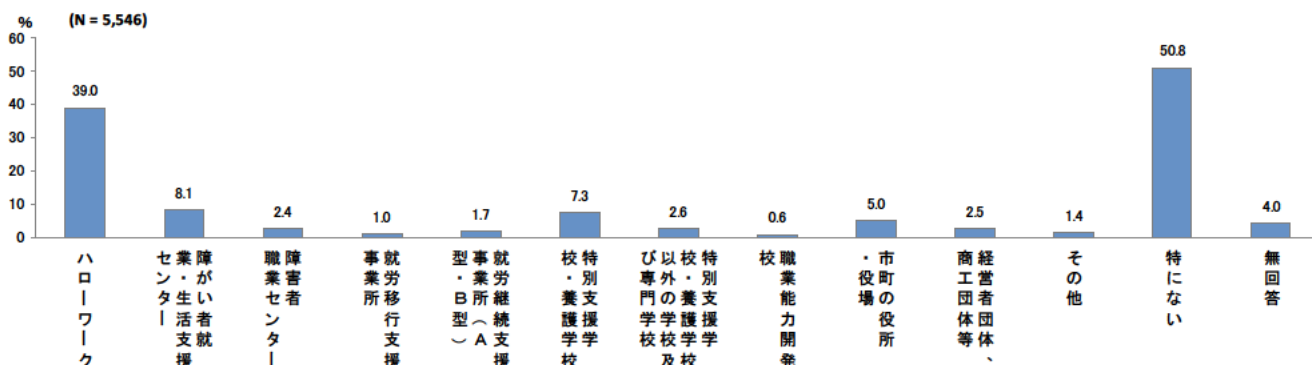


(2) 障がい者雇用の情報取得先

問5 障がい者雇用に関する情報を得ている機関についてお答えください。あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

「特にない」が50.8%と最も高く、次いで「ハローワーク」が39.0%、「障がい者就業・生活支援センター」が8.1%となっている。

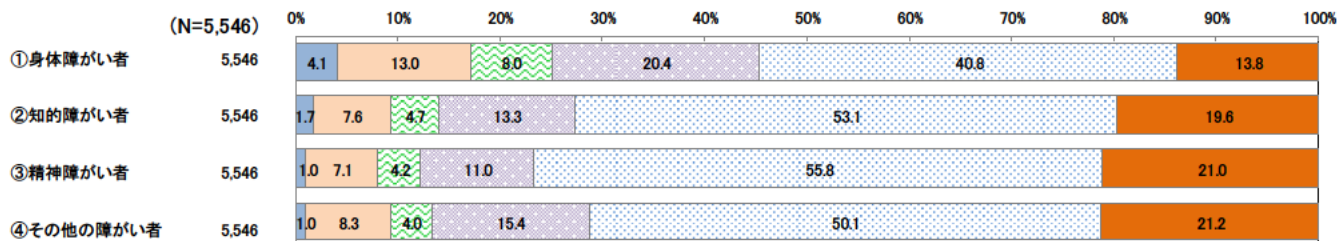


(3) 障がい者雇用への考え

問6 今後の障がい者の雇用についてどのようにお考えですか。あてはまるものを障がい等の種類別に1つだけ○を付けてください。

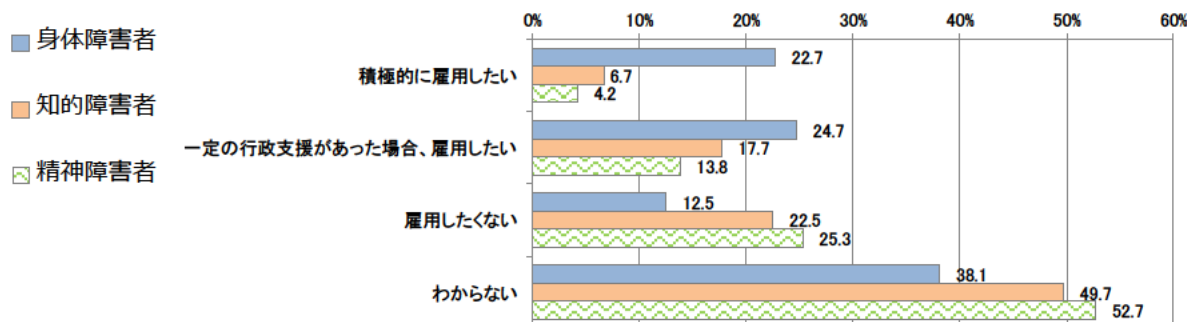
身体障がい者を除く、障がい等の種類では構成に大きな差はない。
身体障がい者では、雇用について比較的前向きな回答の割合が他の障がい等の種類に比べて高くなっている。

- 積極的に障がい者雇用を進めたい
- 不安な点(課題)がある程度解決できれば雇用したい
- 一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない
- 現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい
- 障がい者雇用は考えていない
- 無回答



《参考 平成25年度障害者雇用実態調査(全国)との比較》

全国調査でも、身体障がい者は他の障がい等の種類に比べ「積極的に雇用したい」の回答割合が高く、雇用について比較的前向きな傾向を示している。(参考:平成25年全国障害者実雇用率1.76%)



(出典:「平成25年度障害者雇用実態調査結果」(厚生労働省)を加工して作成)

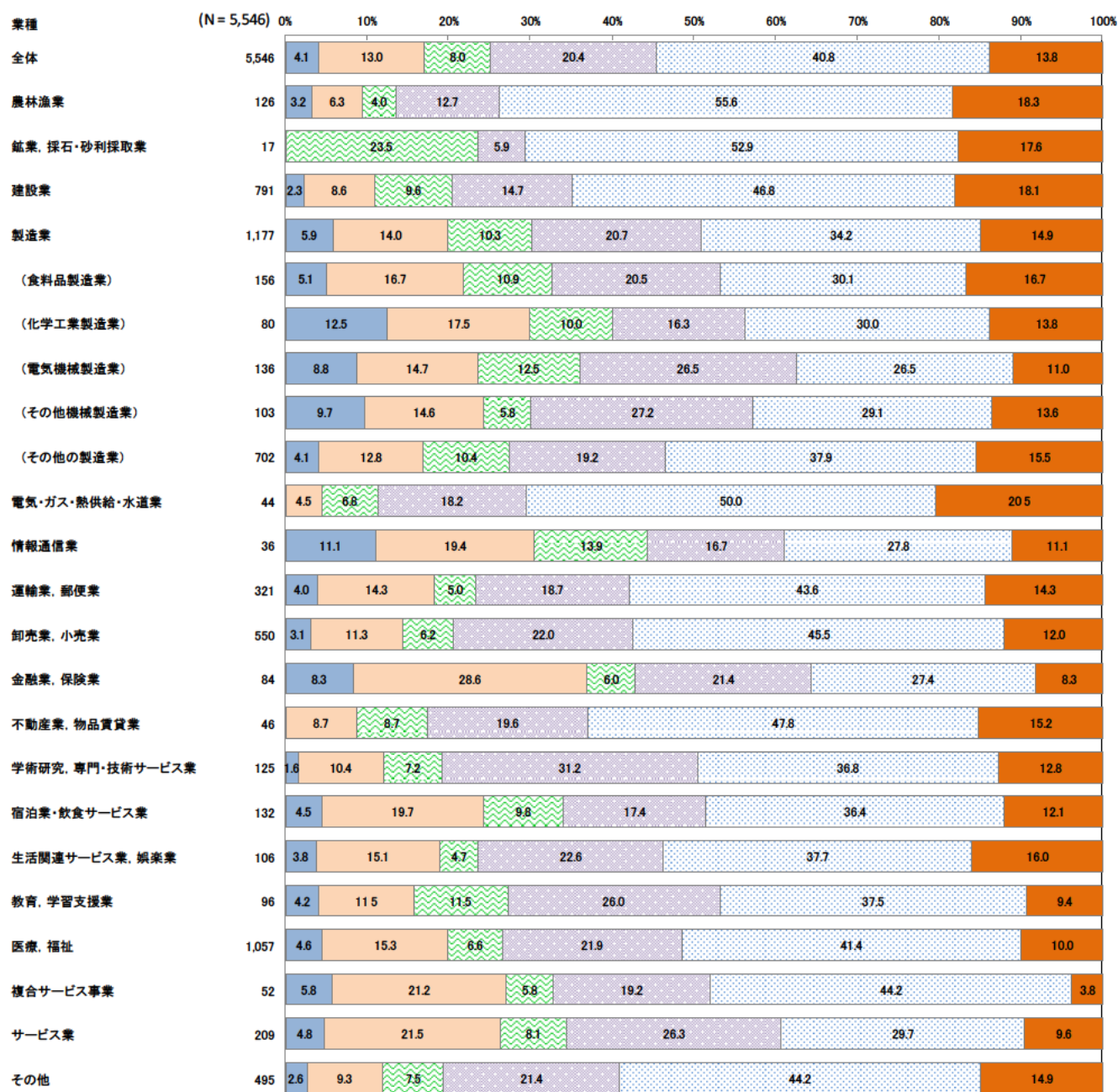
①身体障がい者

「障がい者雇用は考えていない」が40.8%と最も高く、次いで「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が20.4%、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が13.0%となっている。

<業種別>

金融業、保険業では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が最も高く、28.6%を占めているが、これ以外の17業種では「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に3業種（農林漁業、鉱業、採石・砂利採取業、電気・ガス・熱供給・水道業）では5割以上を占めている。

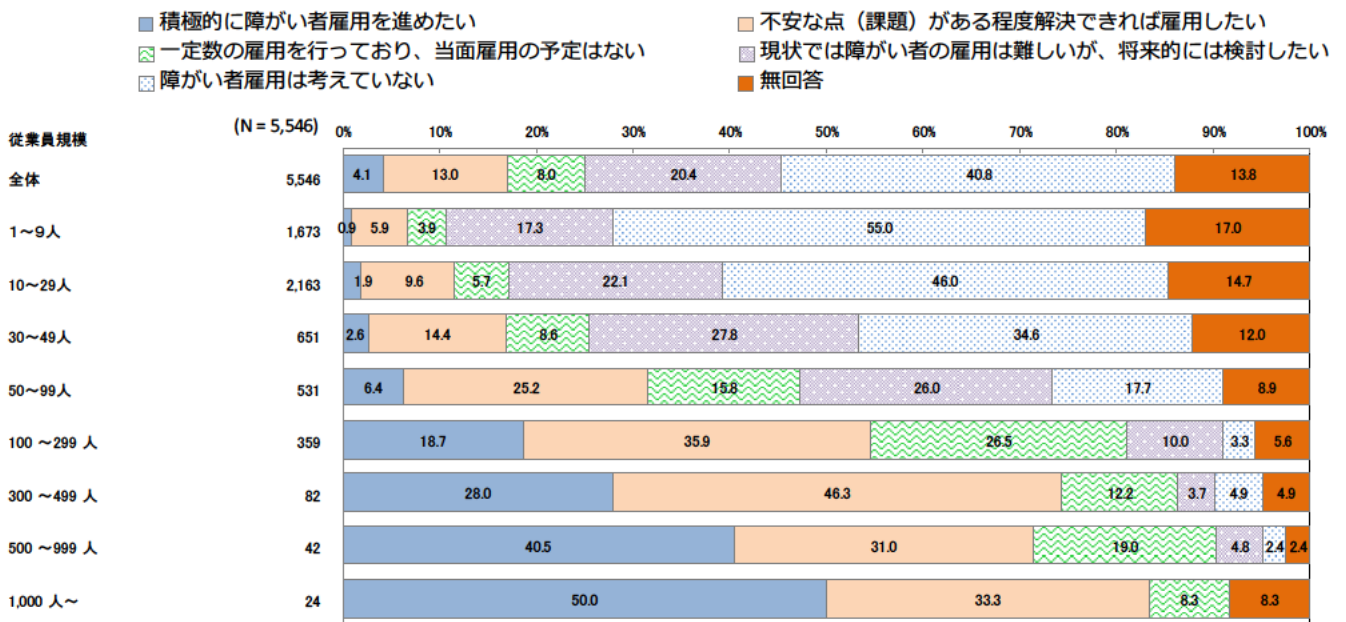
- 積極的に障がい者雇用を進めたい
- 不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい
- 一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない
- 現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい
- 障がい者雇用は考えていない
- 無回答



<従業員規模別>

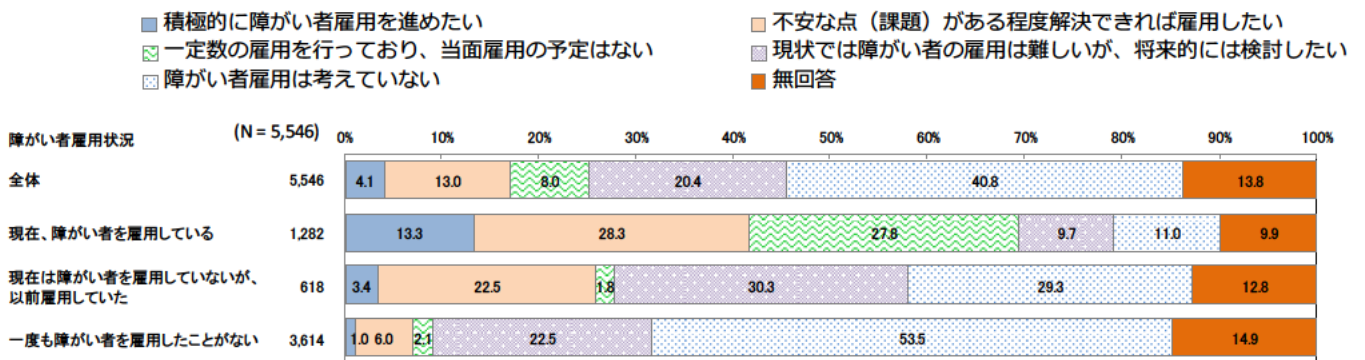
従業員規模が大きくなるほど、「積極的に障がい者雇用を進めたい」、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」の割合が高くなっている。

49人以下では「障がい者雇用は考えていない」が最も高くなっている。50～99人では「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が最も高く、次いで「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」となり、いずれも3割弱となっている。また、100～499人では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」、500人以上では「積極的に障がい者雇用を進めたい」が最も高く、特に1,000人以上では5割を占めている。



<障がい者雇用状況別>

<現在、障がい者を雇用している>では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が最も高く、次いで「一定数の雇用を行っており、当面雇用の予定はない」となり、いずれも3割弱を占めている。<現在は障がい者を雇用していないが、以前雇用していた>では「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が最も高く、次いで「障がい者雇用は考えていない」となり、いずれも約3割を占めている。また、<一度も障がい者を雇用したことがない>は「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、53.5%となっている。

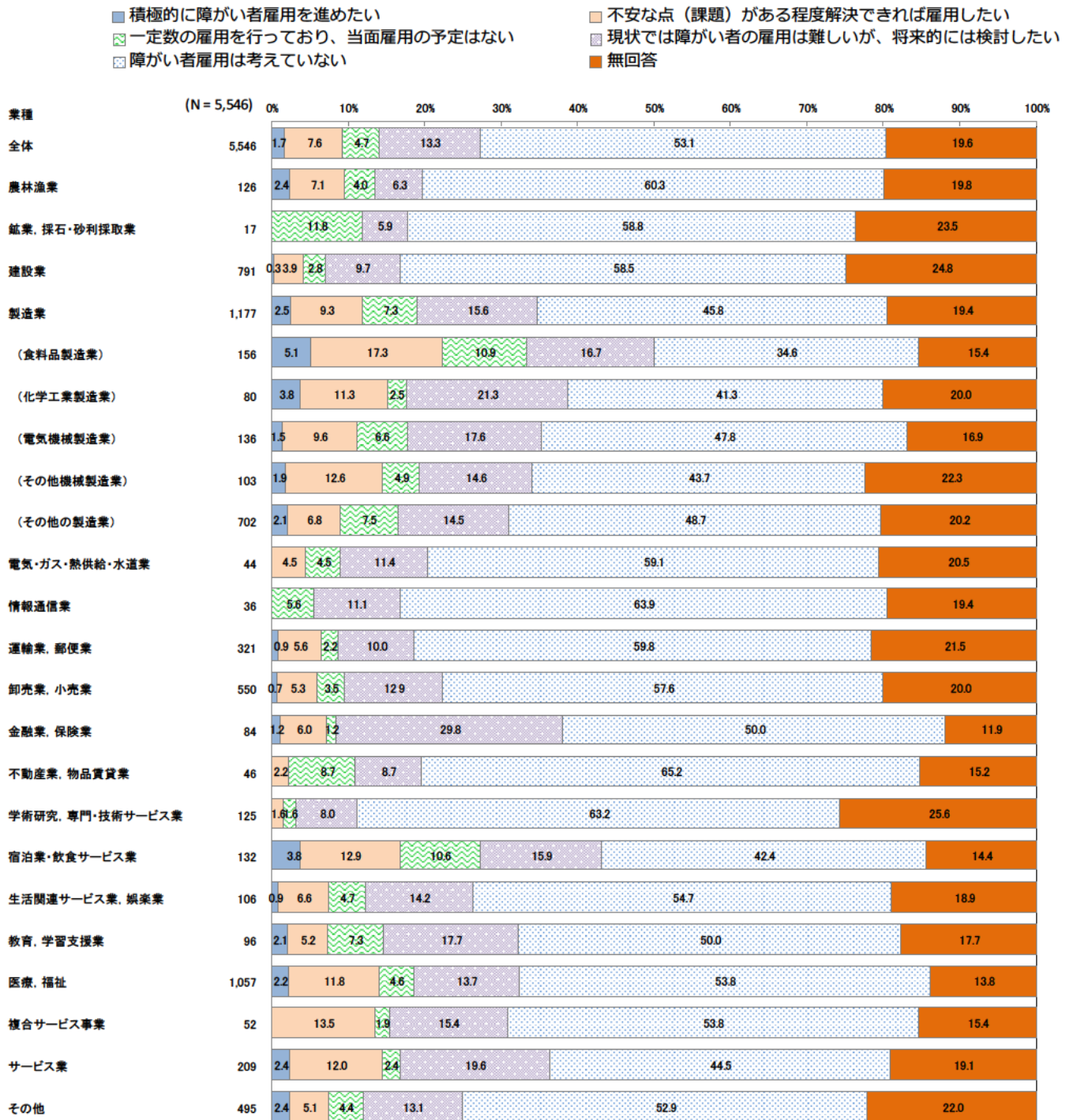


②知的障がい者

「障がい者雇用は考えていない」が53.1%と最も高く、次いで「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が13.3%、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が7.6%となっている。

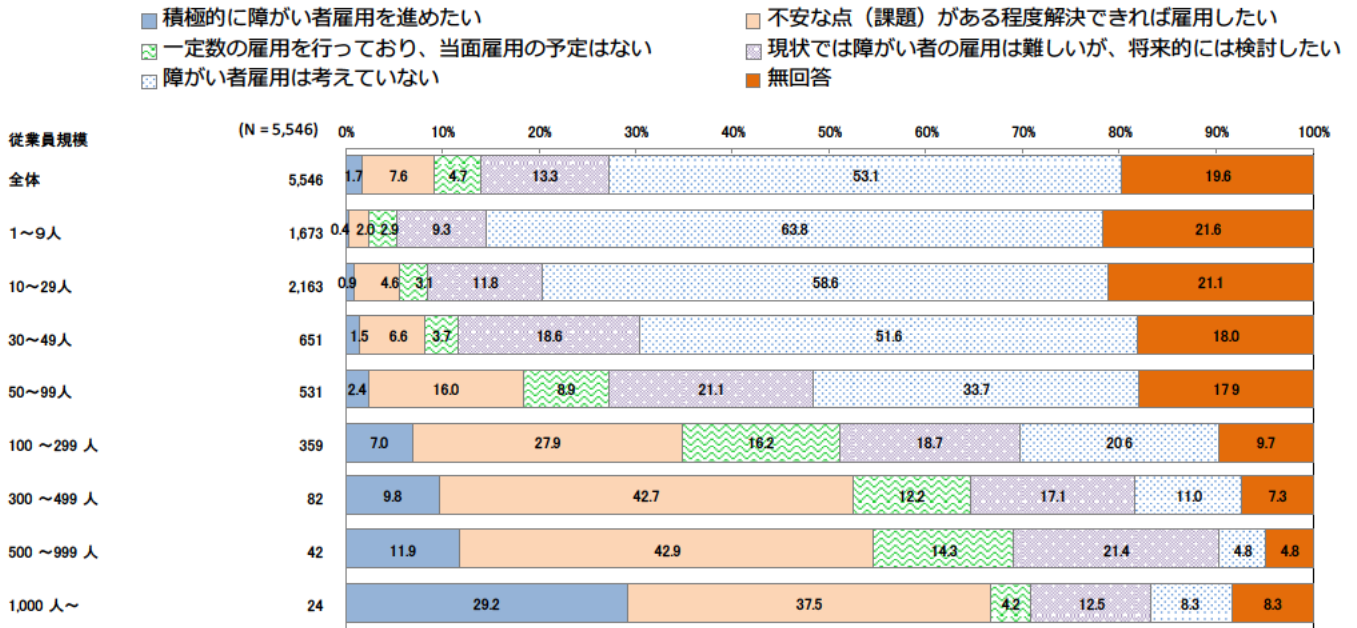
<業種別>

全ての業種で「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に4業種（農林漁業、情報通信業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業）では6割以上を占めている。また、金融業、保険業では「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が3割近くを占めており、他の業種に比べて高くなっている。



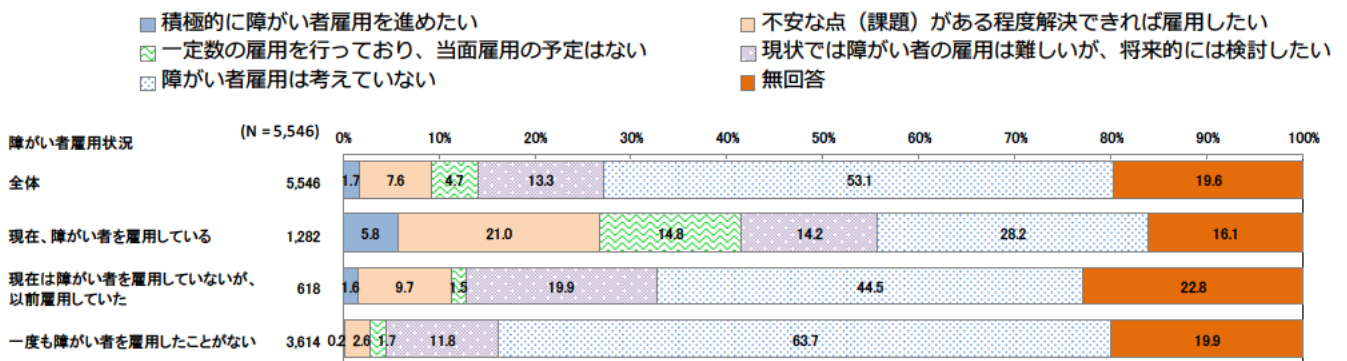
<従業員規模別>

99人以下では「障がい者雇用は考えていない」が最も高くなっている。100人以上では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が最も高く、特に300～999人では4割強となっている。この他、1,000人以上では「積極的に障がい者雇用を進めたい」が29.2%と他の規模に比べて高くなっている。



<障がい者雇用状況別>

全ての区分において、「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に「一度も障がい者を雇用したことがない」では63.7%、「現在は障がい者を雇用していないが、以前雇用していた」では44.5%となっている。一方、「現在は障がい者を雇用している」では、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が21.0%、「現在は障がい者を雇用していないが、以前雇用していた」では「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が19.9%と他の区分と比べて高くなっている。

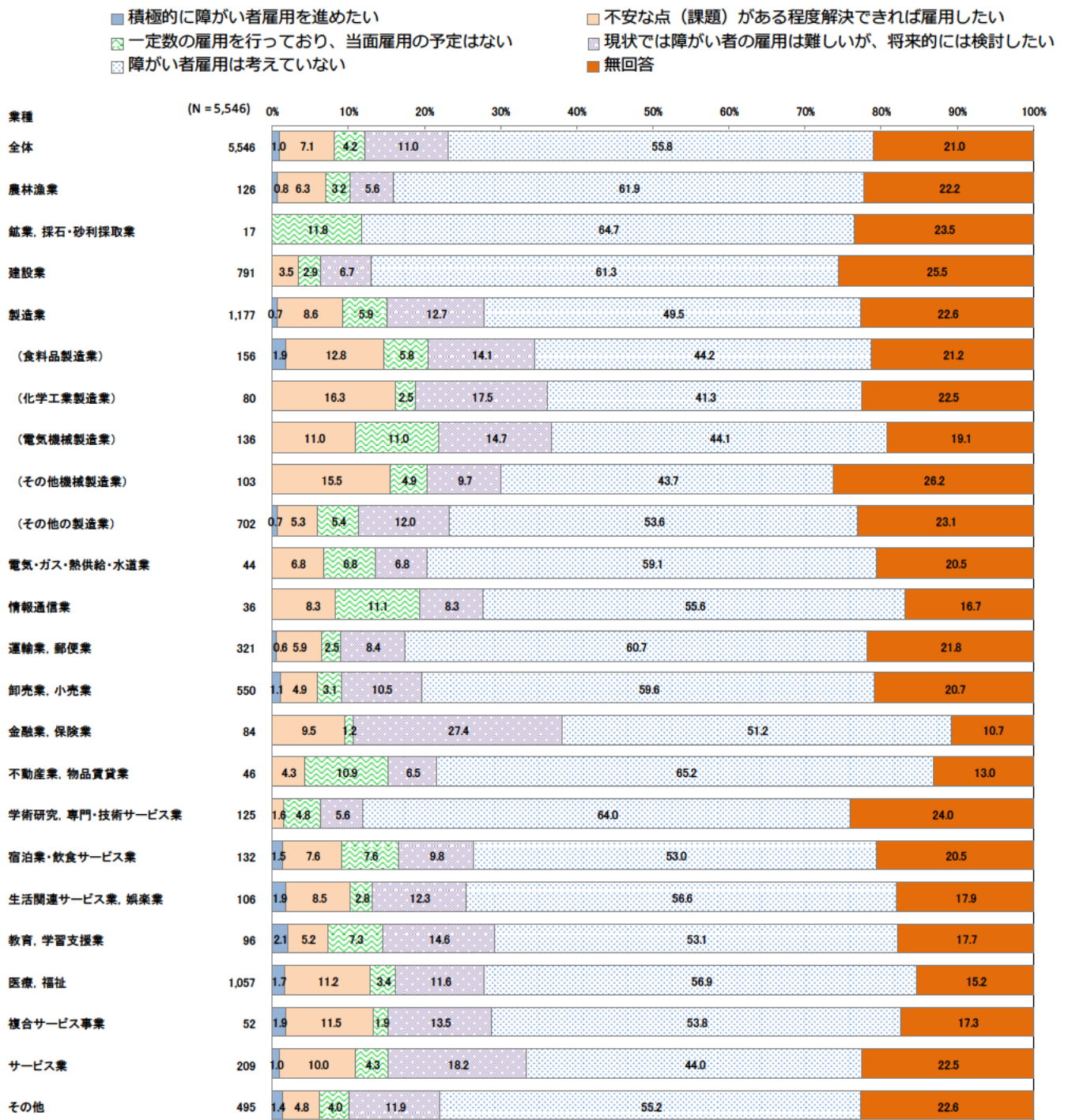


③精神障がい者

「障がい者雇用は考えていない」が55.8%と最も高く、次いで「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が11.0%、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が7.1%となっている。

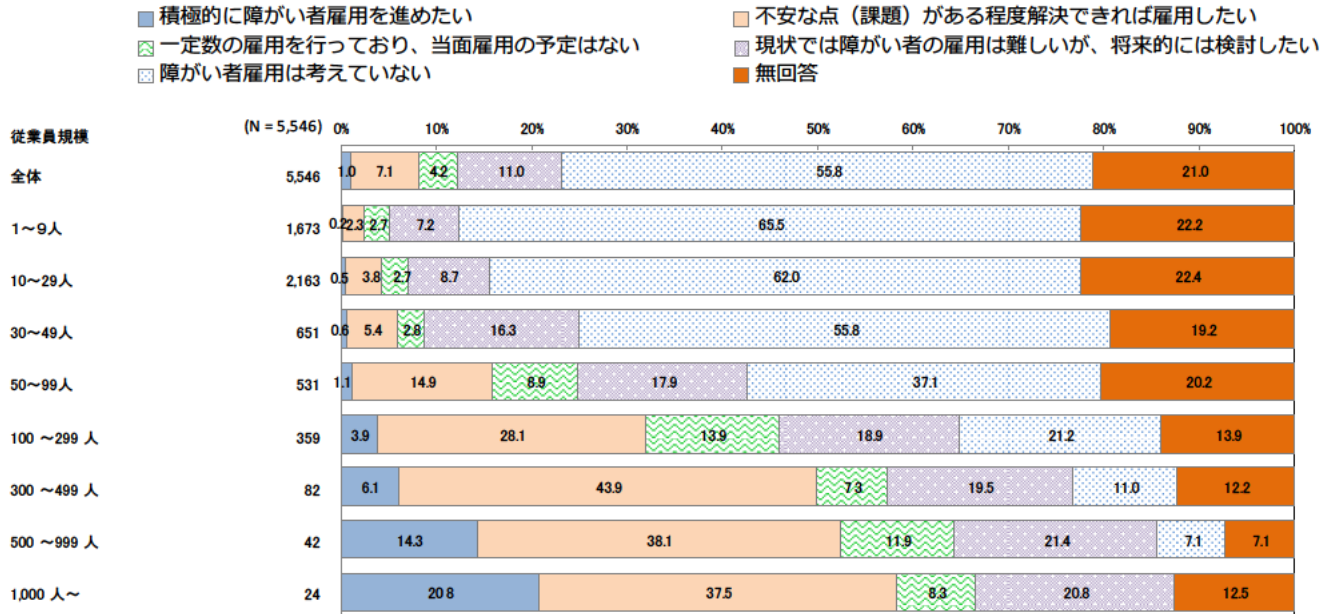
<業種別>

全ての業種で「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、このうち6業種（農林漁業、鉱業、採石・砂利採取業、建設業、運輸業、郵便業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業）で6割以上となっている。また、「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が金融業、保険業で27.4%と、他の業種に比べて高くなっている。



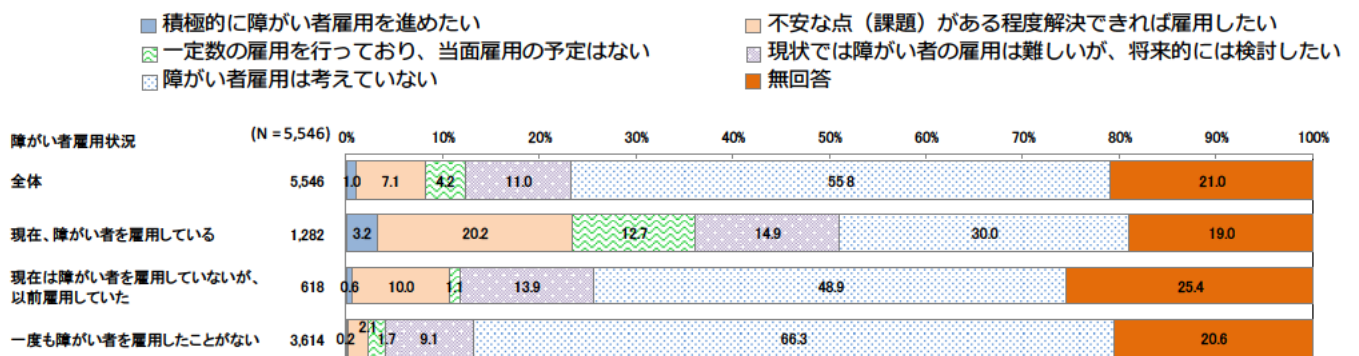
<従業員規模別>

99 人以下では「障がい者雇用は考えていない」が最も高くなっている。また、100 人以上では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が最も高く、特に 300～499 人では 43.9%となっている。この他、1,000 人以上では「積極的に障がい者雇用を進めたい」が 20.8%と他の規模に比べて高くなっている。



<障がい者雇用状況別>

全ての区分において、「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に<一度も障がい者を雇用したことがない>では 66.3%、<現在は障がい者を雇用していないが、以前雇用していた>では 48.9%となっている。一方、<現在、障がい者を雇用している>では、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が 20.2%と他の区分と比べて高くなっている。

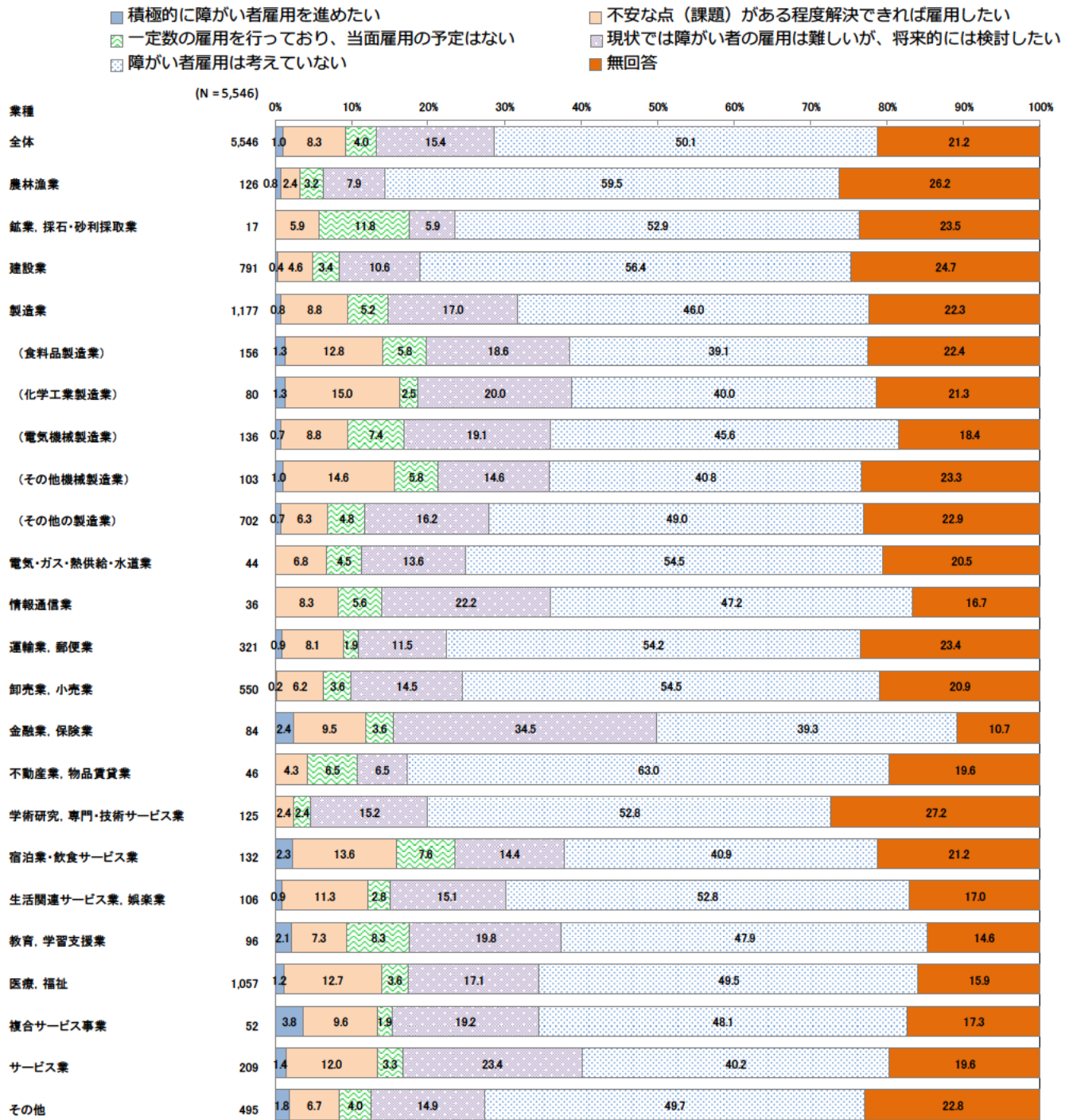


④その他の障がい者等

「障がい者雇用は考えていない」が50.1%と最も高く、次いで「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が15.4%、「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が8.3%となっている。

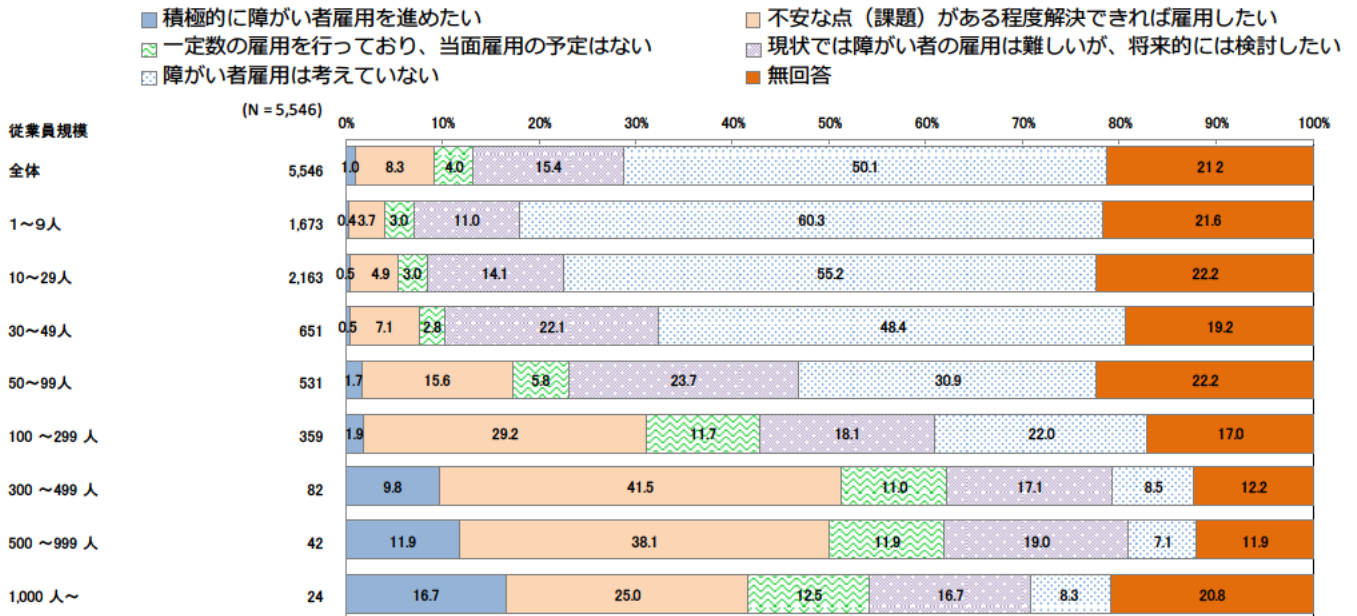
<業種別>

全ての業種で「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に不動産業、物品賃貸業で63.0%を占めている。また、「現状では障がい者の雇用は難しいが、将来的には検討したい」が金融業、保険業で34.5%を占めており、他の業種に比べて高くなっている。



<従業員規模別>

99人以下では「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に29人以下では5割以上となっている。また、100人以上では「不安な点（課題）がある程度解決できれば雇用したい」が最も高く、特に300～499人では41.5%となっている。



<障がい者雇用状況別>

全ての区分において、「障がい者雇用は考えていない」が最も高く、特に<一度も障がい者を雇用したことがない>では60.6%、<現在は障がい者を雇用していないが、以前雇用していた>では39.6%となっている。

